

2019年度 決算のお知らせ

2020年7月17日に書面決議による組合会で決算および事業報告等について承認されましたので、概要をお知らせいたします。

健康保険

◆事業運営における基本方針

皆様からお預かりした保険料を適切に活用し、次の基本方針等に基づき事業を運営しました。

- ①データヘルス計画に沿った加入者の健康維持・増進(集団としての健康状態の向上)
- ②加入者のヘルスリテラシーの向上

◆主なトピック

- 厚生労働省の「スコアリングレポート」で、健康状態等が良好という評価をいただきました。
- 満足度調査を実施し、その結果を踏まえて保健事業の改善や絞り込みを進めています。
- 「後期高齢者支援金の加算減算制度」*1において、支援金の支払い額が減額されることになりました。
*1 厚生労働省が定めた指標により健保組合の活動状況を評価して、後期高齢者支援金を増額・減額するインセンティブ制度です。
- 後発医薬品の利用率を引き上げるため、「後発医薬品差額通知」を開始しました。
- 2019年4月に近畿厚生局の指導監査を受け、概ね良好という評価をいただきました。

◆決算の概況

収支ともに、概ね加入者数の減少を反映し、減額となりましたが、トータル収支は約7億8千万円の黒字となりました。収支それぞれのポイントは次のとおり。

収入

加入者数の減を報酬額の増が上回り、保険料収入の減額を抑制できました。

支出

高齢者医療制度への納付金*2は、加入者数減に加え前々年度の精算が影響したこと等で、大幅な減額となりました。

この黒字額は法定準備金への積み立ての必要がないため、大半を別途積立金へ積み立てます。

*2 高齢者納付金は、全国の高齢者(65歳以上)の医療費を医療保険制度全体で支えるために健保組合で分担が必要な法定義務経費です。

単位:百万円

	2018年度	2019年度			
	実績	予算	実績	対予算比	対前年比
保険料収入(調整保険料含む)	6,346	5,931	6,014	83	▲332
別途積立金繰入	0	278	0	▲278	0
その他収入	182	72	165	93	▲17
収入合計	6,529	6,281	6,179	▲102	▲350
経常収入	6,257	5,852	5,935	83	▲322
保険給付費	2,502	2,646	2,222	▲424	▲280
高齢者納付金	3,364	2,606	2,608	2	▲756
保健事業費	352	519	309	▲210	▲43
予備費	0	200	0	▲200	0
その他支出	253	310	253	▲56	0
支出合計	6,471	6,281	5,392	▲889	▲1,079
経常支出	6,362	5,988	5,298	▲690	▲1,064
経常収支差額	▲105	▲136	637	773	742
収支差額	58	0	787	787	729
被保険者数(名)	8,107	7,630	7,397	▲233	▲710
法定準備金残高	1,914	1,916	1,902	▲14	▲12
別途積立金残高	4,382	3,883	5,169	1,286	787
健康保険料率(%)	83.840	83.840	83.840	0.00	0.00

介護保険

単位:百万円

介護保険については、収支差(決算残金)が約6千万円となりました。この決算残金は法定準備金への積み立ての必要がないため、全額を2020年度へ繰り越します。

	2018年度	2019年度			
	実績	予算	実績	対予算比	対前年比
介護保険料収入	487	451	467	16	▲20
その他収入	5	50	49	▲1	44
収入合計	492	501	516	15	24
介護納付金	442	456	455	▲1	13
その他支出	2	45	0	▲46	▲1
支出合計	444	501	455	▲46	11
収支差額	48	0	61	61	13
介護準備金残高	64	64	64	0	0
介護保険料率(%)	10.00	10.00	10.00	0.00	0.00